



日本証券業協会
Japan Securities Dealers Association

資料 8

IOSCO世界投資者週間（WIW） への対応について

2023年9月

日本証券業協会

1. 世界投資者週間（WIW）について

IOSCOの投資者保護・投資者教育を担当する第8委員会（C8）（※）のイニシアティブで、2017年より、毎年10月に「**世界投資者週間**」（World Investor Week: WIW）を定め、IOSCOメンバー及び協力機関の協力を得て、投資者教育、投資者保護、金融リテラシーに関するKey Messagesの周知及びイベント開催等を行うグローバルなキャンペーンを実施している。

（※）各法域の規制当局40機関程度が参加。本協会もオブザーバーとして参加している。

キャンペーンの概要

2023年の
開催期間

10月2日（月）から10月8日（日）

主な目的

- 投資者教育、投資者保護、金融リテラシーに関する主要メッセージ（Key Messages）の普及・拡散
- 投資者にとっての学びの機会の促進
- 投資者教育、投資者保護に関するIOSCOメンバー内の連携強化



キャンペーン実施方針

参加予定当局・機関

C8メンバー当局・自主規制機関を始め、**2022年は110の法域**が参加。その他、国際機関（世界銀行、OECDなど）もサポート

主な活動内容等

- IOSCOでは、WIWに先立ち、毎年、Key Messagesを決定し、参加機関は様々な活動を通じてその普及を図る。
- 各法域では、各法域における目的・目標を掲げることもでき、その上で、投資家教育や投資家保護に係る様々な活動を行う（e.g. ブックレット等の作成、アプリ・ゲーム・ウェブサイト・SNS・TV・ラジオ・新聞等による情報提供、会議・セミナー・授業・ツアー（オンライン、実開催、ハイブリッド）の実施等）
- IOSCOではこれらの活動のコーディネーションや取りまとめを行う。

主な活動内容等

各法域の参加機関は、活動結果についてIOSCO/C8に報告を行い、IOSCO/C8が設置したWIWに関するWGが評価レポートを作成

2. 世界投資者週間（WIW）のキャンペーンについて

2023年の方針

IOSCOの方針

- キャンペーン期間は10月2日～8日を基本とするが、各法域では状況に応じて10～11月のいずれかの週を選択することを認める。
- 2023年は、投資家のレジリエンス、サステナブル・ファイナンス及び暗号資産に関する投資者教育に特に力を入れることとしているほか、詐欺の防止、投資の基本、テクノロジーとデジタル金融も挙げられている（※）

（※）2023年のKey Messagesについては次ページ参照

国際レベル/各法域での活動

国際レベルでの活動

- C8が主体となり、キャンペーン実施計画の策定、グローバルサイトの開設、IOSCOメンバー・国際機関への参加呼びかけ等を実施
- 各法域における活動のサポートや取りまとめ

各法域レベルでの活動

- 昨年はオープニングセレモニーはニュージーランドで開催（※）
（※）2017年～2019年のオープニングセレモニーは日本で開催。2019年は本協会が主催。2020年からニュージーランド主催でオンライン開催。
- WIW期間中は各法域/団体が交代で、Global Webinarを開催する予定
- （各法域における目的・目標も掲げて）参加機関は投資家教育や投資家保護に係る様々な活動を実施予定

本邦での活動

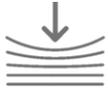
- IOSCO正会員である金融庁のほか、協力会員である日本取引所グループ及び日本証券業協会が参加。日本証券業協会では、「証券投資の日」の活動等を実施予定
- 金融庁が国内を取りまとめ、IOSCOとの連絡を行っている

3. 2023年のKey Messagesの概要①

IOSCOでは、毎年、Key Messagesを決定し、WIWの活動においてその普及を図っている。

(※) 2023年は各主要メッセージに補足説明が追加された。

投資家のレジリエンス



賢い投資者は、

- 運用実績の評価に際して、**インフレ**を考慮して**実質リターン**を利用している
- インフレが長引く環境下での**資産の動き方・影響**を理解している
- とりわけ一つの予期せぬ事象による損失から投資を保護するための**分散投資**の重要性を認識している
- **十分な緊急資金**で金融ショックを乗り切る
- 全ての投資には**リスク**があることを理解している
- **リスク管理**、**インフレ**の影響の軽減、及び**高金利借入**を回避する**家計戦略**により、予期しない課題に備える

サステナブルファイナンス



賢い投資者は、

- サステナブルファイナンスは、**様々な呼び名**があることを認識している（ESG投資、社会的責任投資、インパクト投資等）
- **開示資料**により**ESGの要素の評価**を確認している
- サステナブル・ファイナンスへのアプローチが、**自身の判断基準**（投資目標、目的、リスク許容度、選好）と一致するかを考慮している
- サステナブル・ファイナンスの投資機会はそのそれぞれ異なるため、**個別に評価**する必要があると理解している

暗号資産



賢い投資者は、

- 暗号資産に係る**リスク**を理解している
- 投資機会を検討する際、**デューデリジェンスの重要性**を忘れない
- **投資詐欺**を示唆する赤信号を認識している
- **著名人**の宣伝だけに基づいて投資を行わない

(※) 下線部分は2022年からの改定・追加部分。

3. 2023年のKey Messagesの概要②

IOSCOでは、毎年、Key Messagesを決定し、WIWの活動においてその普及を図っている。

(※) 2023年は各主要メッセージに補足説明が追加された。

詐欺や騙しの防止



賢い投資者は、

- **登録業者かどうか**を確認している
- 投資前に**投資機会を調査**する
- **うまい話**、今すぐに投資せよというプレッシャー、**海外送金**等、またそういった圧力をかける人に注意する
- 予期しない電話などで**個人情報の開示はしない**
- 強力なパスワードや2段階認証等の**高いデータセキュリティ**を使用する
- **SNSを通じた一方的な投資勧誘**に注意する
- インターネット上の**投資情報の情報源**を確認している

(※) 下線部分は2022年からの改定・追加部分。

投資の基本

NEW!



賢い投資者は、

- **長期・積立・分散投資**の利点を認識している
- 将来の必要性・目標に沿って**計画**を立てて投資する
- 自身の**お金の使い道**を理解している
- **複利の効果**を認識している
- 投資先を選ぶときに**手数料負担**の確認を行っている

(※) ピンク色項目については、本年より新規追加。
(うち一部は一昨年まであったものが再度追加されたもの)

テクノロジーとデジタル金融

NEW!



賢い投資者は、

- 急速に変化する投資環境の中でも、投資判断の**デュー・デリジェンス**に時間をかける
- 資金管理における**デジタルツールの利用方法**を理解している
- オンライン上の**不正確な情報源**を**区別する方法**を知っている
- テクノロジーがもたらす新たな可能性を理解しつつ、**行動バイアス**による行動への悪影響の可能性も認識している

4. 本協会の取り組み①

本協会ウェブサイトのメインビジュアル等に、WIWのロゴマーク等を表示したバナーを掲載するとともに、協会員にも協力を依頼予定

本協会WEBサイト用



— 資産形成には長期・積立・分散投資 —

日本証券業協会はIOSCOの世界投資者週間(WIW)に協力しています。

開催期間：2023年10月2日～10月8日

日本証券業協会

IOSCO等英語WEBサイト用



World Investor Week (WIW)

JSDA works with IOSCO for WIW.

A smart investor recognizes the benefit of long-term, regular and diversified investment.

From 2 to 8 October 2023

Japan Securities Dealers Association

協会員WEBサイト用



— 資産形成には長期・積立・分散投資 —

10月2日～10月8日は、世界投資者週間 (WIW)

4. 本協会の取り組み②

本協会では従前より「証券投資の日」の活動等、投資者保護、投資者教育について、WIWの趣旨に沿った事業を展開 ～2023年度はメッセージ広告やオンラインによる情報発信を中心に実施～

○個人投資家向け周知活動



中長期的な資産形成に適した税制優遇制度であるNISA等のポイントを特設サイトやリーフレットにまとめ、情報発信を実施。

○若年層向け周知活動

投資未経験者、無関心層、特に若年層向けに投資への気づきやきっかけを与えることを目的として、「#投資そろヤバ」特設ページを開設。



○「株や社債をかたった投資詐欺」被害防止に係る広報活動



高齢者を中心に深刻な社会問題となっている「株や社債をかたった投資詐欺」被害の防止を図るため、警察、行政機関、協会員との連携強化等を通じて、一般消費者・投資者に注意喚起。

○金融証券教育活動



投資未経験者・初心者を対象にセミナーのオンラインでの開催、講師派遣、ウェブコンテンツによる情報配信等を実施。

【参考】IOSCO／AMCC／C8の組織・概要

<p>会議名</p>	<p>証券監督者国際機構／協力会員諮問委員会 (IOSCO : International Organization of Securities Commissions) (AMCC : Affiliate Members Consultative Committee)</p>
<p>IOSCOの設立目的</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 投資家を保護し、公正かつ効率的で透明性の高い市場を維持し、システミックリスクに対処することを目的として、国際的に認識され、一貫した規制・監督・執行に関する基準の適切な遵守を確保し促進するために協力すること 2. 公正行為に対する法執行や、市場・市場仲介者への監督に関する強化された情報交換・協力を通じて、投資家保護を強化し、証券市場の公正性に対する投資家の信頼を高めること 3. 市場の発展への支援、市場インフラストラクチャーの強化、適切な規制の実施のために、国際的に、また地域内で、各々の経験に関する情報を交換すること
<p>IOSCOの設立時期</p>	<p>1974年に設立された米州証券監督者協会を母体とし、1980年代以降に欧州・アジア諸国の機関が加盟。1986年のパリ総会において、現在の証券監督者国際機構という名称に改められた。</p>
<p>IOSCOのメンバー</p>	<p>IOSCOのメンバーには、正会員 (Ordinary Member) 、準会員 (Associate Member) 、協力会員 (Affiliate Member) の区分がある。我が国からは、金融庁、経済産業省及び農林水産省が正会員として、証券取引等監視委員会が準会員として、日本証券業協会及び日本取引所グループが協力会員として、それぞれ加盟。</p>
<p>AMCCの概要と活動</p>	<p>本協会が加入する協力会員諮問委員会(AMCC)は、1989年に事務局長のイニシアティブにより設置された自主規制機関諮問委員会(SROCC)が、協力会員の属性の多様化に伴い、2013年9月に名称変更されたもの。現在、約70の機関が加入している。</p> <p>AMCCの主な機能としては、協力会員としてIOSCOに参加している自主規制機関の知見及び意見をIOSCOの政策委員会の議論に反映させ、グローバルな規制環境の適正な整備に資することや協力会員間の意見交換等。同委員会の会合は通常年2回(IOSCO年次総会時の会合及び中間会合)開催。</p> <p>議長は、全米先物協会(NFA)のKaren Wuertz SVP。なお、2006～2012年の間、本協会が旧SROCCの議長を務めた。</p>
<p>C8の概要と活動</p>	<p>IOSCOでは、2013年の組織改編において、代表理事会 (IOSCO Board) の下に、各種課題を個別に協議する8つの委員会が設けられた (次ページの組織図参照)。</p> <p>このうち委員会8 (C8) では、リテール投資家の投資家教育及びリテール投資家保護に係る施策についてマンデートを請け負っている。</p>

【参考】IOSCO内の主な組織

